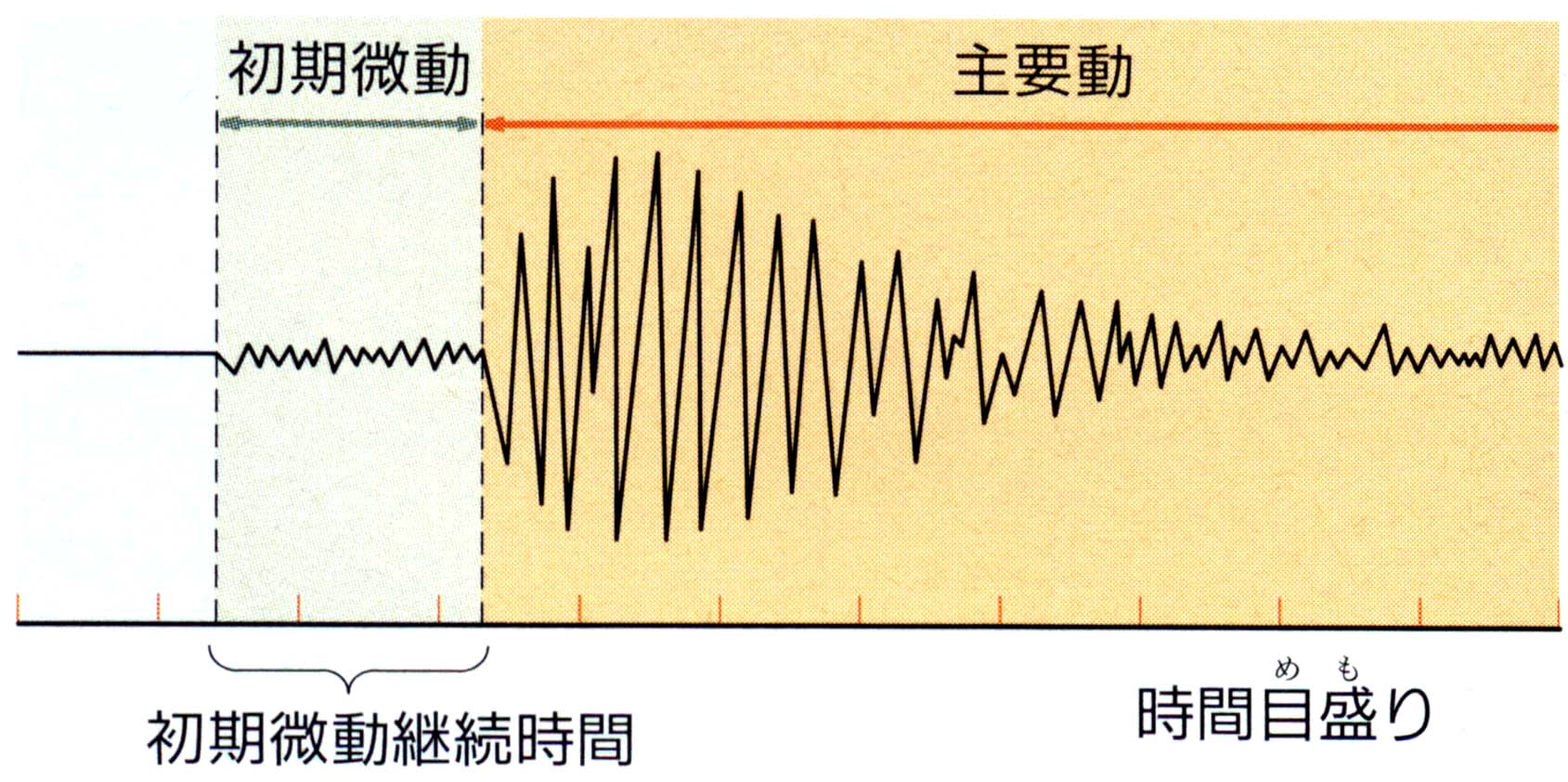
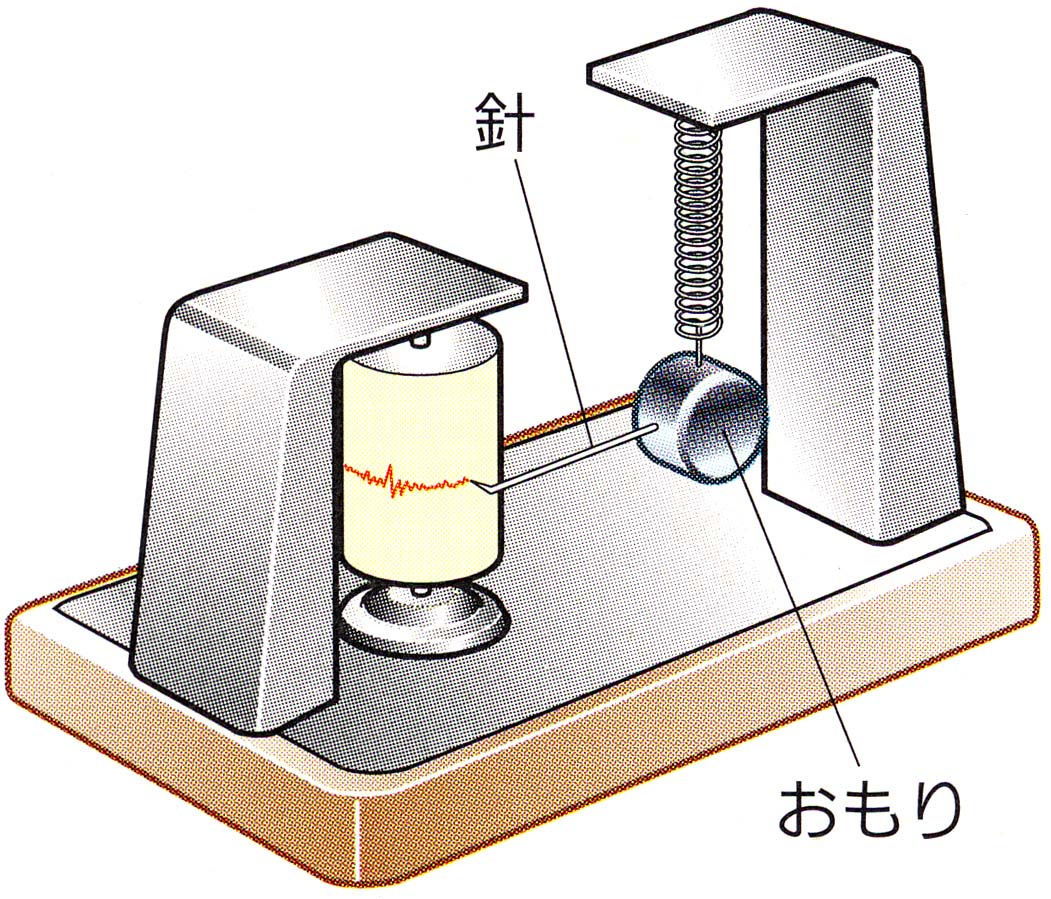
地震について知っていることば・・・

感想・・・

一般に地震のときは、最初に（　小さな　）揺れを感じ、

続いて（　大きな　）揺れを感じることが多い。 地震は下図のような（　地震計　）で記録される。 　　地震のときにはおもりと



　　針はほとんど動かない。

　　　　　　記録用紙は動くので、

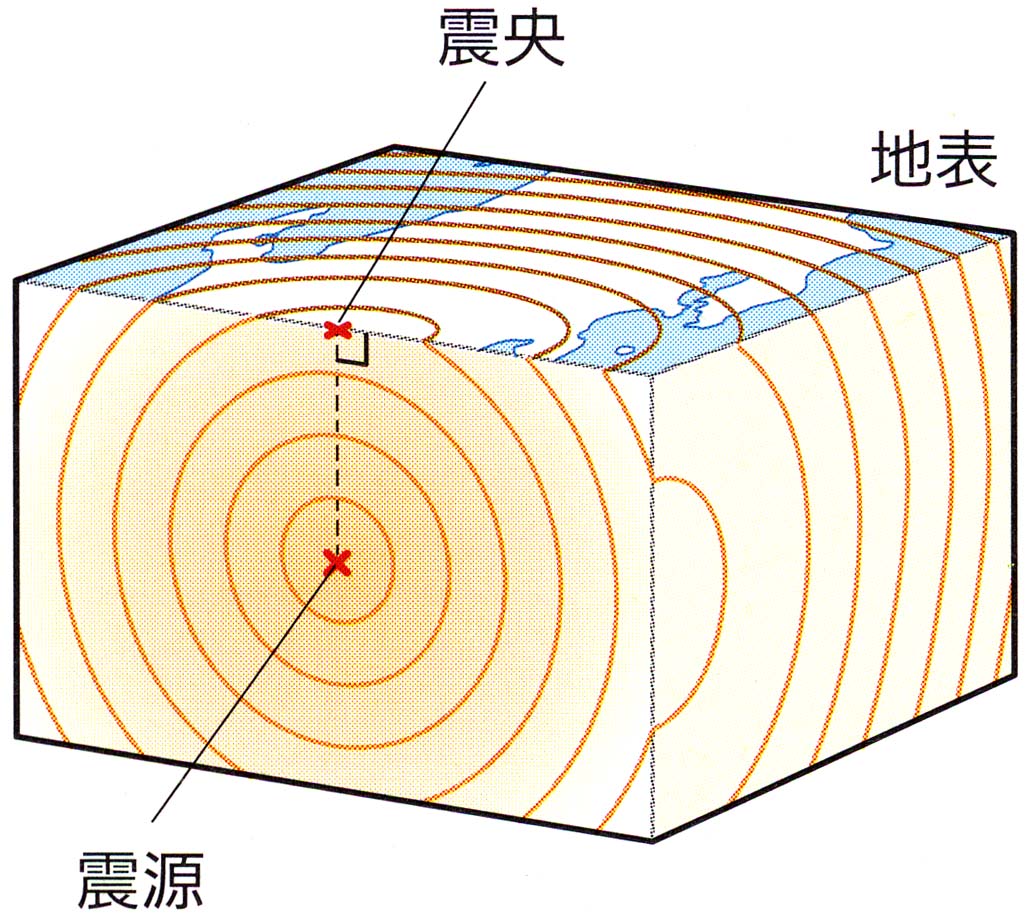
　　　　　　　　　　　　　 　　地震の揺れが記録できる

上の図は地震計による記録である。

最初の（　小さな　）揺れを（　　　初期微動・Ｐ波　　　）という。

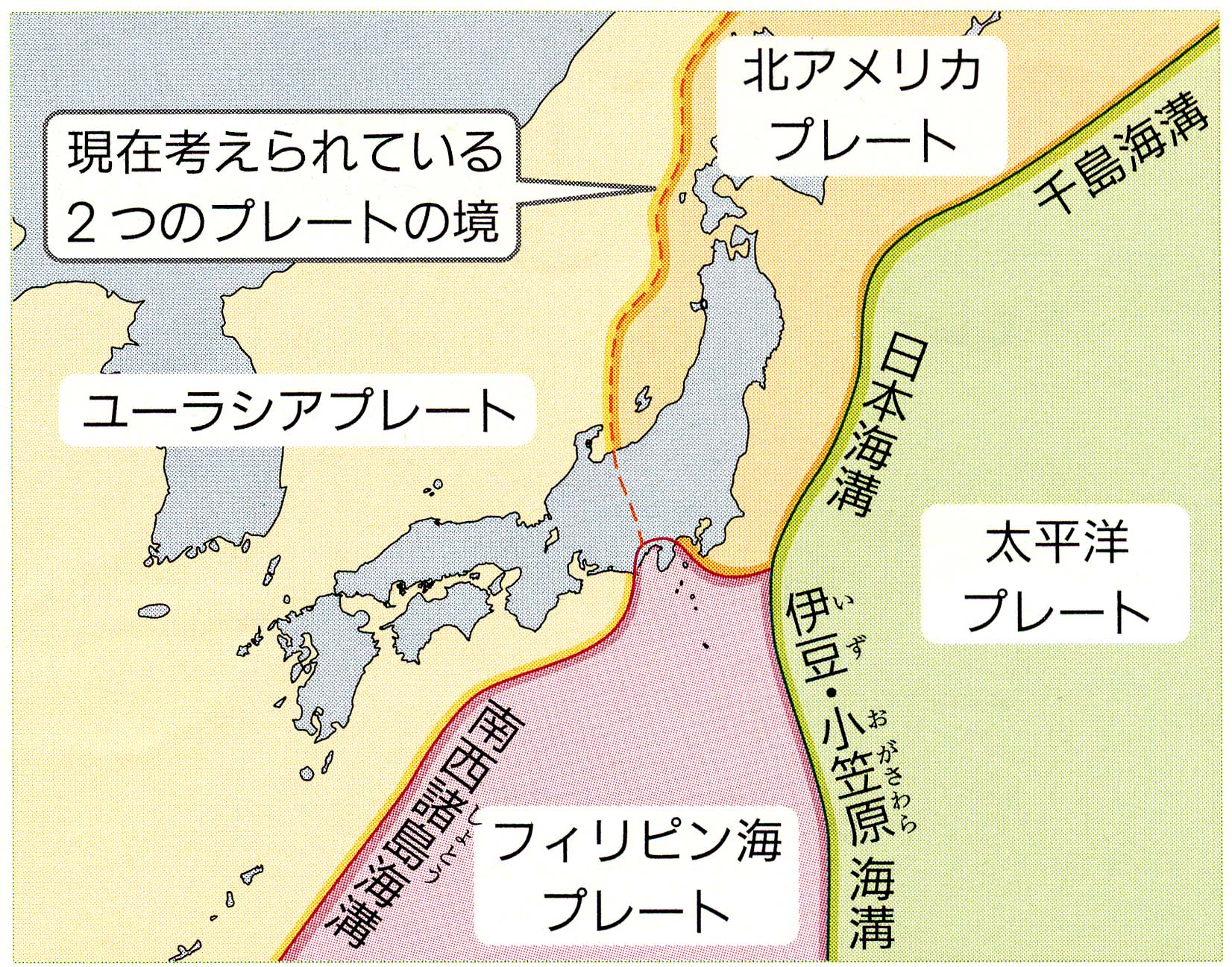
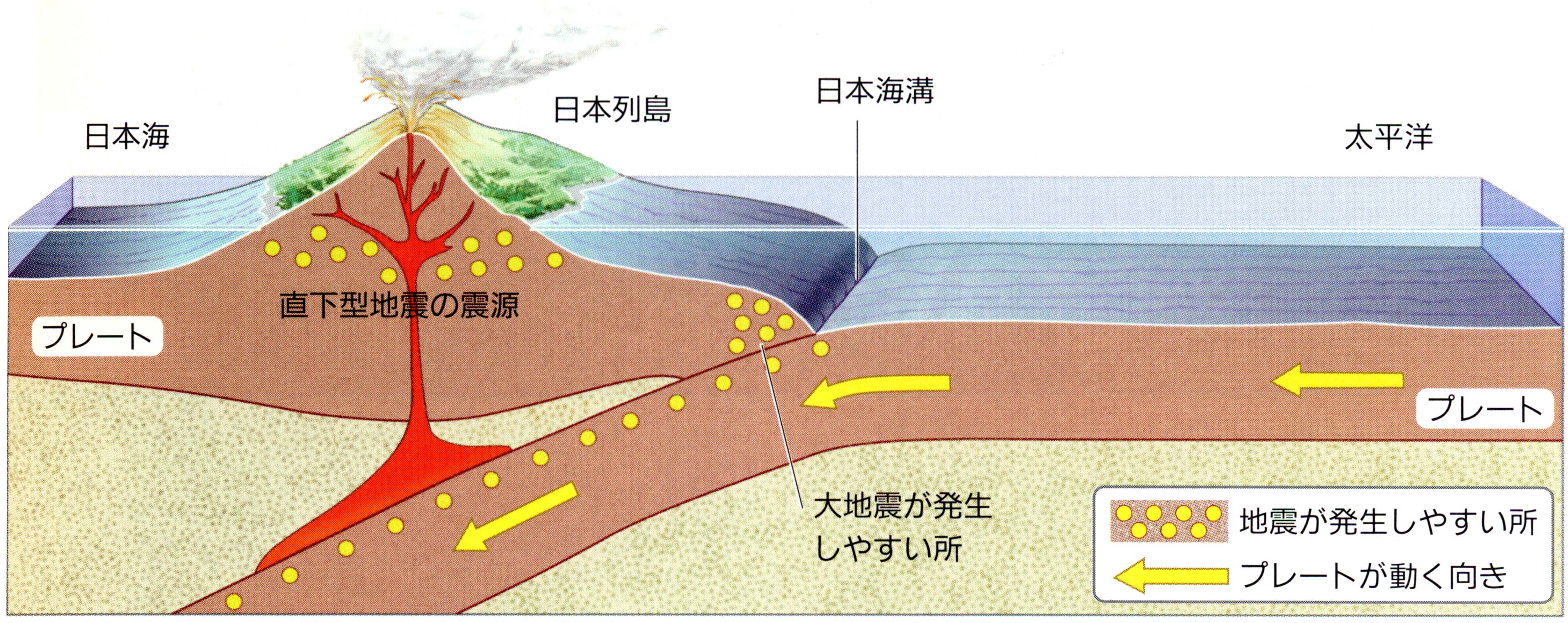
あとからくる大きな揺れを（ 　　主要動・Ｓ波　 　）という。

（　初期微動　）が始まって（　主要動　）までの時間を（　初期微動継続時間　）という。



左の図を見よう！

　　　　　　　　　　　　　　　地震が最初に発生した地下の場所を（　震源　）といい、

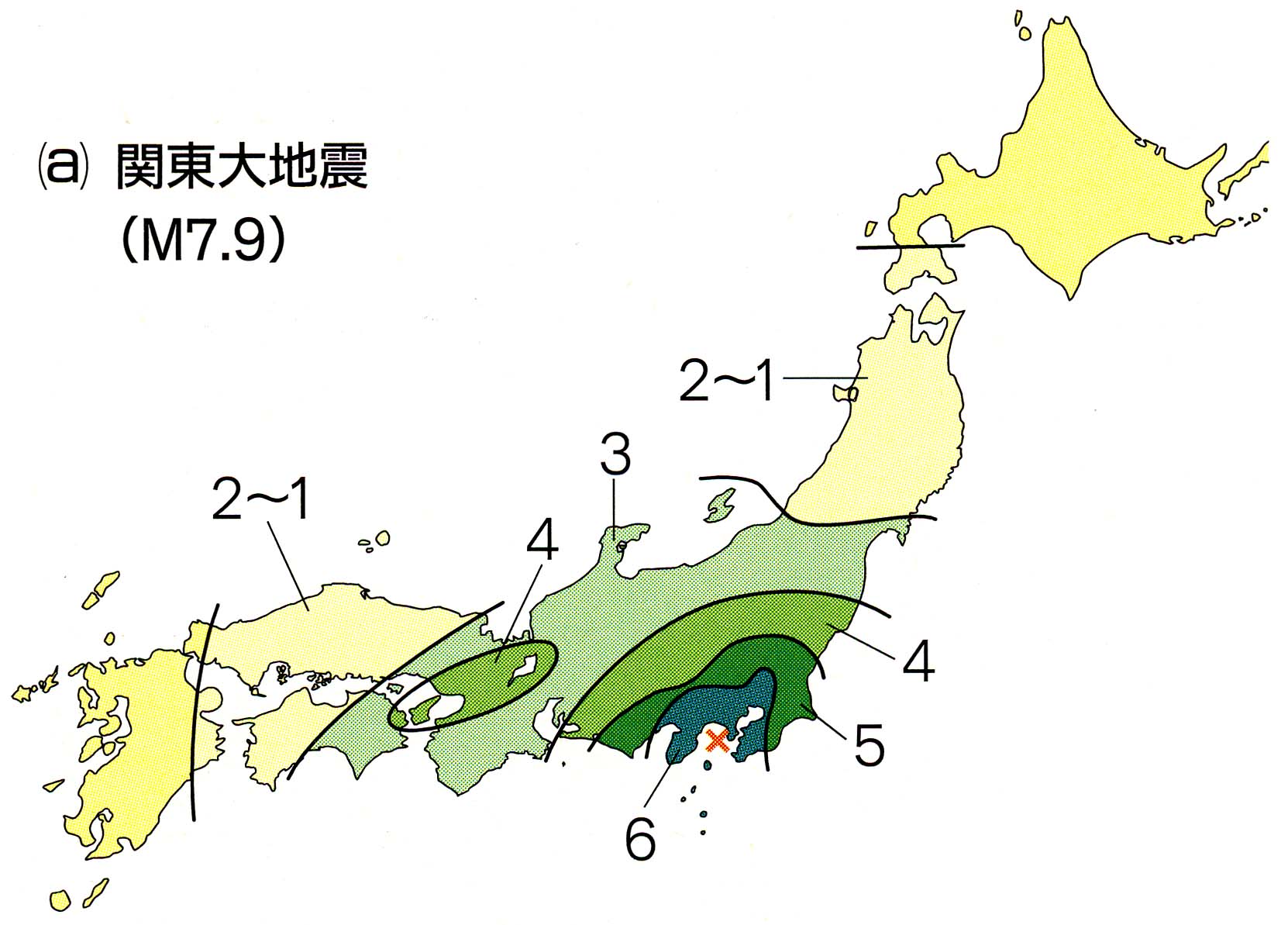


　　　　　　　　　　　　　　　震源の真上の地表の地点を（　震央　）という。

　震源では速さの異なる２種類の波が同時に発生し、まわりの岩石の中を

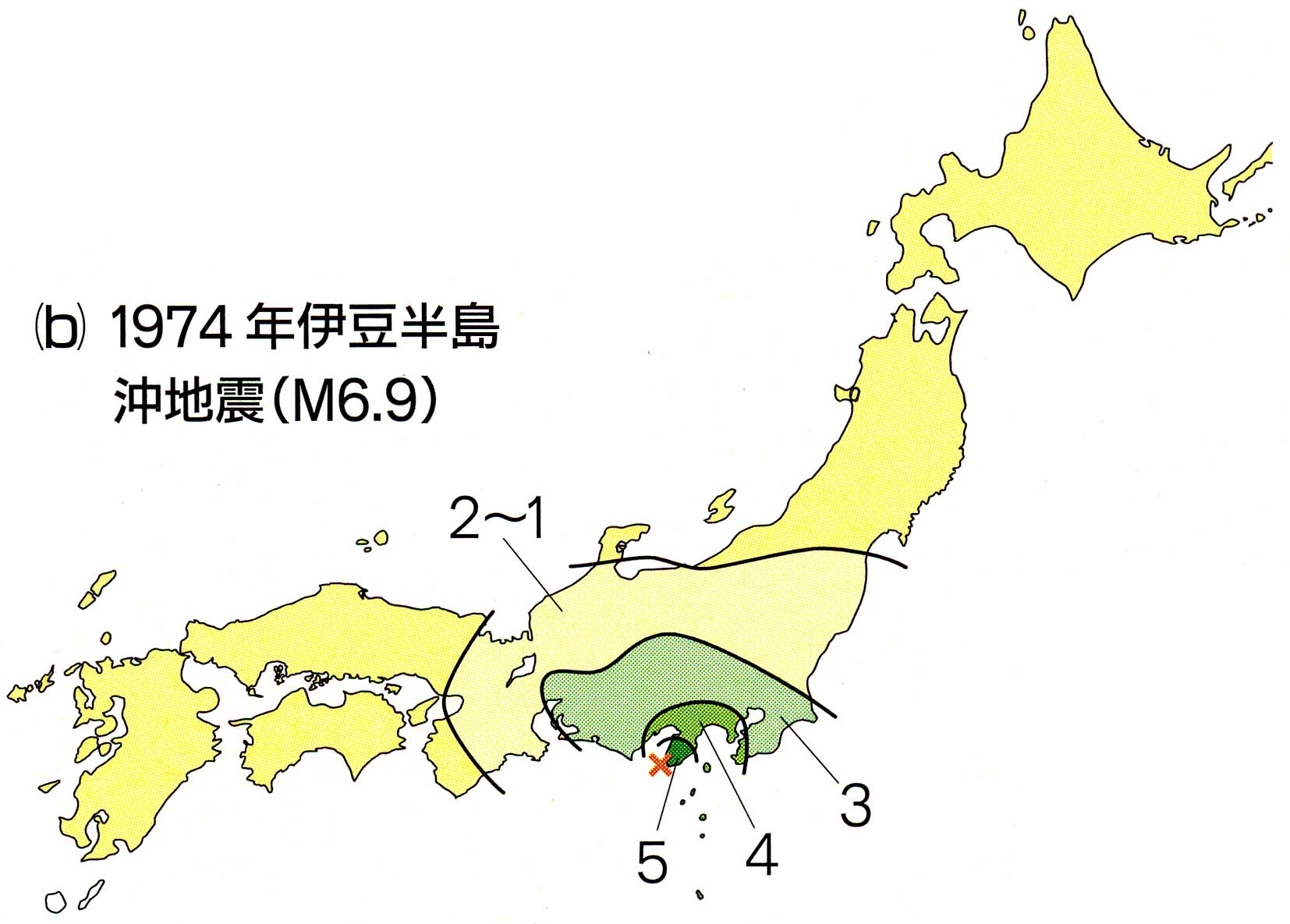
伝わっていく。ちなみに初期微動は（　縦波　）で早く伝わる。

主要動は（　横波　）でゆっくり伝わる。



「マグニチュード」と「震度」あなたは違いがわかりますか？

地震そのもののエネルギー（規模）が



　（　　マグニチュード　Ｍ　）です。

地震の揺れの強弱（ゆれぐあい）が

　（　　震度　（０～７までの１０段階　５と６は弱と強）　）です。

　２年　　組　　番　氏名